

# 川尻うまかもん vol.13

取材店 浜松餃子 心地

今回の川尻うまかもんは、静岡は浜松から九州発上陸のお店が川尻にオープンしました。浜松餃子専門店「心地（ここち）」です。オーナーの新村 誠さんは地元の味をそのまま提供できるよう、餃子の餡や皮は全て浜松から直送しています。

心地の定番メニューは、徳川家康ゆかりの地で出世の街とも言われた浜松ならではのネーミング『出世餃子定食』(10ヶ ¥980。12ヶ¥1170 税込)！

とにかく餃子のサイズが大きい！そして外はカリカリ、中はトロリとした餡とキャベツがたっぷりボリューム満点！美味しさの秘訣に焼津産鰹の1番だし、隠し味にホタテを使用するなど、細かいところまでこだわりがぎっしり詰まっています。店内での飲食はもちろん、餃子は冷凍・焼きたてのテイクアウトもOK。さらに、心地は浜松餃子だけでなく、静岡でもなかなか味わえない生の桜えび丼定食 ¥2290税込も(事前予約お願いします)。入手困難な静岡地ビールも数量限定でご用意しております(店内のみでの飲食可能)。静岡がいっぱい詰まった心地にぜひ一度足を運んでみてはいかがですか？4月末まで「河陽新聞を見た」で30円引きとなります！



070-9102-7907  
南区野田1-6-22  
11:00~14:00 (オーダーストップ13:30)  
15:30~19:30 (オーダーストップ19:00)  
予約受付時間 11:00~13:00 / 15:30~18:30  
店休日等のお知らせはInstagramで随時更新しております。



川尻TV

## 今後の川尻校区のスケジュール

これから特に3月は川尻校区でイベントが目白押しとなります！そこで今後のイベントを紹介いたします。また、川尻校区自治会連合会では「川尻TV」というサイトで各種団体のスケジュールを公開していますので、みなさんQRコードから確認、ブックマークしていただきご活用ください

3/3 土	川尻校区自治会役員意見交換会	川尻校区自治会連合会
3/10 日	川尻の新酒蔵出し市2024	新酒蔵出し市実行委員会
3/16 土	加勢川下流域かわまちづくり座談会	加勢川下流域かわまちづくり準備委員会
3/31 日	川尻をどり	川尻をどり実行委員会・川尻公会堂
4/7 日	川尻をどり花童	川尻をどり実行委員会・川尻公会堂
4/20 土	春だ！相撲だ！川尻わっしょい@河尻神宮	川尻青年協議会
8/10 土～8/12 月	野外育成活動（菊地少年自然の家キャンプ）	川尻校区青少年健全育成協議会
8/15 木	精霊流し	川尻精霊流し 花火大会 実行委員会
8/31 土	夏だ！夜市だ！川尻わっしょい	川尻青年協議会

## 編集後記

アフターコロナとなり、各町内や団体で様々な活動がバージョンアップして行われるようになったように思います。今回は川尻校区が安全安心で心地よく生活出来るような活動をピックアップしてみました。

それと穴掘り大会や賀詞交換会など地域間連携をしている活動やイベントなども取り上げています。特に加勢川下流域のかわまちづくりは家族連れが集まるオシャレな水辺や健康的なウォーキング、サイクリングが楽しめる憩いの場になる可能性を秘めていますので、今後も継続的に共有していく予定です！

今年は川尻小学校が創立150周年を迎えるので、次回以降は編集後記は愛育会の古賀会長にバトンをお渡しして様々な活動を紹介してもらいます。

発行責任者:川尻校区自治協議会 会長 米満 吉重

編集責任者:川尻校区自治協議会 広報部会 会長 益本 武士

### 読者プレゼント

「河陽新聞」をお読みいただき、ありがとうございます。  
今回は「サブリーポップコーンプレミアムポップコーン」を抽選で5名さまに、「浜松餃子心地 冷凍餃子10個入り(引換券方式)」を10名さまにプレゼントいたします。

### Sabury popcorn

プレミアム  
ポップコーン

5名様

画像はイメージです

10名様

心地

ご応募は [kayou.shinbun@gmail.com](mailto:kayou.shinbun@gmail.com) に  
氏名・住所・連絡先・希望プレゼント・今号の感想を記入してメールしてください。当選の方にはご案内を返信いたします。(商品は手渡しになります。詳細はご当選者様にお送りします)こちらのQRコードから送れます→

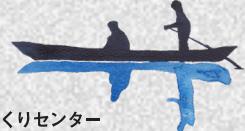


川尻の“いま”を伝えます

# 河陽新聞

Vol.39  
2024.3.2  
KAWASHIRI AREA  
NEWSPAPER  
KAYOU SHINBUN

「河陽」とは緑川の北岸の町という意味で、川尻の古い呼称です。歴史と文化を大事にしてきた川尻にちなんで、「河陽新聞」として川尻校区の情報を発信しています。



## 加勢川下流域の水辺を活かした まちづくり～校区を超えた交流～

記者 南部まちづくりセンター  
今坂 かず美



好きな加勢川をもっと良くしたい！沢山の人に好きになってほしい！…川尻の若手の方の熱意から、この活動は始まったように思います。それが今となっては、近隣の富合や中緑の方々と交流するまでに広がりました。

これまでに4回開催された『かわまち座談会』は、加勢川を知ること、好きになること、そして参加者同士が親しくなることからスタートしました。回を追うごとに内容はより一層深まり、加勢川の現状や治水対策を学び、船の上から川やその景観を感じ、加勢川とともに流れてきた歴史を学び、参加者にとって加勢川の魅力を大いに感じられる機会となりました。

また、3校区によるワークショップでは、それぞれの地域が抱える課題解決に向けた取組みや、川を活用したまちづくりについて意見交換を行い、具体的に何ができるか？どのように連携すれば出来るか？など、少しづつイメージを膨らませているところです。

まちセン職員として貴重な経験をさせてもらいながら感じることは、人と人がどんどん繋がって新たな何かが生まれていく楽しさ、そして何より地域のチカラ。いつの日か、この活動が何かしらの形となり、地域がますます活性化されることを楽しみにしています。

能登半島地震が元旦に発生しました。熊本地震では全国各地からたくさんの支援を頂きました。その恩返しをいつかしたいという思いは皆さんあると思います。川尻校区自治協議会では、被災された方々が震災前の日常へ戻ることを祈願し、善意銀行へ川尻校区の思いを乗せて28万3800円の義援金を送りました。

## 二十歳を祝う会

記者  
森 長浩 (11町内)

月三日、川尻公会堂にて川尻校区「二十歳(はたち)を祝う会」が開催されました。今年度二十歳の出席者は20名と例年よりも少なくなりましたが、コロナ後としては初めて、出席者の家族も会場内で式典を観覧することができました。

式典では、主催者を代表して米澤紘二川尻公民館長が、成人に与えられる自由と権利、それらに伴う責任に触ながら挨拶。来賓からは、米満吉重川尻校区自治協議会会長から、目標を持って物事に取り組むことの大切さなどが語られ、山本哲也南部まちづくりセンター所長が、本田正文南区長の祝辞を代読されました。

二十歳の「夢を語る」では、出席者代表の宮崎芽衣さんから、熊本地震の経験が自らの進路を考えるきっかけとなったことや、成人として自分の行動に責任を持って日々を過ごしたいといった



## 弓道部の矢渡し会

記者  
益本 桜花 (7町内)

私は日本で最古の武道といわれている弓道を習っています。場所は南部スポーツセンターの弓道場で、火曜日・木曜日の練習に参加しています。

新年の1月6日に矢渡し会が行われました。矢渡し会とは一年の無事と成功を祈願して初めて弓を射る儀式です。

その会で私と私のおじいちゃんで詩吟をしました。とても緊張しましたし初めての試みで不安でしたが、やってみるととても楽しくて日本の伝統のコラボレーションはとても美しかったです。

練習は川尻校区から6町内の藤永哲郎先生と14町内の上長博幸先生が指導して下さります。弓道部として城南中から中体連にも参加することも可能ですので、一緒に楽しみながら参加してくれる部員を募集しています。



## 十日会と賀詞交換会が久しぶりに開催

記者  
金井 俊行 (7町内)

口ナガ5類となり、4年ぶりの十日会と賀詞交換会。昨年12月9日に公会堂にて10町内(野田)が担当のもと『十日会』が開催されました。公会堂に溢れんばかりの川尻校区の住人が集まり、大盛況で幕を閉じました。また今年1月12日には、いわむらにて『賀詞交換会』が開催されました。能登半島地震で亡くなった方のご冥福をお祈りし、会がスタートしました。久しぶりの開催とあって、参加者は立ったままお酒を酌み交わし、交流を深めておりました。川尻校区の日常がやっと戻ったと実感できた日となりました。



## 熊本城マラソン

記者  
宮田 あき (2町内)

2024年2月18日 快晴のもと、熊本城マラソンが開催されました。昨年愛称が決まった川尻蔵前通り(Vol.37参照)が、今年はすごかった! 総数80本もの【川尻蔵前通り】幟旗が立ち並ぶなか、川尻こども園の園児たちがかわいいダンスで熱烈に応援。瑞鷹前には特設給水所が出現! 仕込みに使われる力水がふるまわれました。そして、お料理まじまでは金山味噌コラボの温かい味噌汁が。さらに、かずさ屋ではミニ塩パン＆丸ぼーろが。川尻スポーツ協会から200名を超えるボランティアも集まり、川尻総出でランナーたちを手厚くおもてなししました。きっと川尻蔵前通りはアツい応援スポットとして全国的に有名になったことでしょう。来年もみんなでランナーたちを応援しましょう! 川尻わっしょい!!



## どんどや

記者  
古川 亮 (10町内)

1月7日と14日に元三町と野田町でどんどやが行われました。子供達が竹切に行き櫓をたて、点火して、お焼き上げした火を見ながら、地域の方どうしが交流しながら餅を美味しくいただきました。まるで地域の新年会のようでした。色々な地域でどんどやが復活するといいなと感じました。



## 消防団夜警

記者  
立山 幸之助 (5町内)  
立山 新之助

消防団は火災時の消火活動だけでなく水害や地震時の被害を軽減しています。重要な活動の一つに「年末夜間警戒活動」があり12月28日から30日までの3日間赤色回転灯を回し川尻校区の皆さんに「火の用心」を呼びかけています。川尻校区の消防団は5つに別れて住民みなさんの安全安心のために活動しています。みなさんも消防団と一緒に頑張りましょう!



愛's eye ☆ 岩清水 愛 (8町内)

## 第6回穴掘り大会2024

か数チームが参加! 果たして結果は…。

見事優勝したのは『城南校区消防団(城南町)』(深さ205cm・初回から参加で2回目の優勝)でした! 掘った深さの分だけチームの絆が深まる大会♡来年は川尻からの参加を増やして、地元をもっと盛り上げましょ~!



南区の自然を体感するイベントとして昨年も好評を博した穴掘り大会が、2月11日に加勢川河川敷で開催されました! 川で繋がる城南・富合・川尻・飽田・天明の地域活性の為に始まったこの大会は、1チーム5人でとにかくひたすら穴を掘って深さを競うというシンプルなもので、大人の部、小中学生の部に加え、今年は『ファミリーの部』も新設! 大会初回は20チームに満たない参加だったのが今年は65チームが集結し賑々しくスタート! それぞれの作戦で汗だくになりながら、ただただみんなで穴を掘る…。地味に見えるけど色々な意味で深い! 川尻地区からは川尻青年協議会ほ